

令和3年度第1回男女共同参画プラン策定委員会 会議録(要旨)

- 開催日時 令和3年9月17日(金) 午前10時00分～午後12時15分
- 場 所 新しい村 村の集会所
- 出席者 委員 稲山委員、瀧ヶ崎委員、青木委員、望月委員、小暮委員、田中委員、赤井委員、高橋委員、南保委員、武井委員、大島委員、佐藤委員、渡辺(久)委員、渡辺(雪)委員、中島委員
町 長
事務局 赤井課長 柴崎室長 鈴木主任
- 傍聴者 0名

1 次第

- (1) 開会
- (2) 任命書の交付
- (3) あいさつ
- (4) 会長及び副会長の選任
- (5) 議題
 - ①第3次宮代町男女共同参画プラン策定基本方針について
 - ②意識調査の結果(概要)について
 - ③第2次男女共同参画プランの進捗状況について
 - ④策定スケジュールについて
- (6) 閉会

2 会議概要

- (1) 開会
出席メンバー15名。
宮代町男女共同参画プラン策定委員会設置規程に基づき会議を開会しました。
- (2) 任命書の交付
町長より、各委員に任命書の交付を行いました。
- (3) あいさつ
町長より、あいさつを行いました。

— 委員自己紹介 —
- (4) 会長及び副会長の選任

- (佐藤委員) 提案ですが、男女共同参画に詳しい、知識・経験を有する方のなかから会長を選んだ方が会議を進めていくなかで良いのではないのでしょうか。
- (中島委員) もし誰もいなければ、私がやっても良いです。ただし、私は、経験はないです。ある程度意見を言わせていただきます。会長は意見を言えないなどの制限がなければお引き受けしても良いです。
- (佐藤委員) 私の意見ですが、男女共同参画プラン策定委員会ということもあるので、会長が男性であれば副会長は女性が良いのではないかと思います。
- (稲山委員) 推薦という形になりますが、自己紹介のなかから、これまでのご経験も踏まえて私は小暮さんを推したいと思います。それを補佐する形で中島委員さんが副会長という形ではいかがでしょうか。私たちも協力します。
- (青木委員) 私も、3月31日まで男女共同参画に携わっていた小暮さんを推します。男女共同参画は様々な法律に関わってきますので、知識のある方にこれまでの経験を活かして担っていただきたいです。
- (小暮委員) 私は、男女というところでは人権という部分に根があると思いますので、長く人権擁護委員として活躍されている稲山委員さんを推したいと思っており、私としてお役に立てる部分があればもちろんご協力いたします。
- (稲山委員) この男女の委員会では、私は女性が会長になっていただきたいと思っており、私としては、私も小暮さんに会長をお願いしたいと思っていました。
- (中島委員) 誰も手があがらなかったのが引き受けて良いと言いましたが、私はいったんお引き受けます。
- (佐藤委員) 会長、副会長の選任に時間をかけられないということもありますので、異例になるかもしれませんが、一つの案として今日は暫定的に決定するというだけでも良いのかなと思います。
- (武井委員) 今までのお話を伺って、小暮さんは3月31日まで町に携わっていて、委員のなかでも町のことは一番詳しいのではないかと思います。実際、プランを推進するにはある程度予算などの裏付けが必要になりますし、実行性のあるプランを作るためには宮代町の現状などを見極める必要があると思いますので、知識・経験のある小暮さんに会長をお願いしたいと個人的には思います。
- (小暮委員) お役に立てるようであれば、会長を引き受けたいと思います。

～会長 小暮委員～に決定

- (中島委員) 先ほどご意見がありましたように、副会長については今日決める必要はないのではないのでしょうか。
- (赤井委員) 会長と副会長の役割を教えてください。
- (事務局) 会長に会議を進めていただきます。会長に事情があってお越しただけでない時に副会長に会議を進めていただきます。
- (赤井委員) 選任が必要ということであれば、せっかく候補もでていますので、今日決め

てしまっはいかかでしょうか。

(事務局) 副会長につきましてはお二人の名前があがりましたので、中島委員と稲山委員に決定させていただいてよろしいでしょうか。

～副会長 稲山委員・中島委員～に決定

[意見等]

(中島委員) 今年、宮代町男女共同参画という項目で2つの組織ができました。その役割を見ると、男女共同参画プラン策定委員会については、プランを策定すること。男女共同参画社会推進会議については、そのプランに則って、セミナーの開催や、情報誌を発行するなど、いわゆる実行部隊です。そこで、整合性が合わないことがあります。それは、プラン策定委員会のなかに推進会議のメンバーが入っていることです。これは、私は違うのではないかと思います。推進会議のメンバーは実行部隊で、やった結果が問われます。一方、プラン策定委員会は、「ジェンダーとは?」「共同とは?」「平等とは?」というところを掘り下げてある形を作っていきます。2つの組織はスタンスが別で、別物の会議をまとめている感じがしてなりません。逆に、プラン策定委員会で決まったことが、推進会議に情報が流れているのか、また、推進会議から質問点があれば委員会のメンバーが会議にオブザーバーとして出席することはやぶさかではないと思います。推進会議のメンバーがプラン策定委員会に入ることは筋が違うのではないかと。町は、今まで1本化していたものを2本化してやるということはそれなりの考えがあってやっているのだと思うが、それぞれのスタンスを尊重するべきなのではないか。

(事務局) 男女共同参画社会推進会議は平成16年からございます。こちらの会議において当初はプランについても検討することとしており、企画立案・実行も行う委員会でもございました。市民の意見を広く聞きながら、セミナーや情報誌を発行して啓発していくという委員会でもございました。今回、令和3年4月に組織を二分化させていただきました。プランを策定するにあたって計画的かつ総合的に推進する体制を整理しなければならないというところがあり、幅広く多くの方や団体から様々な意見を聞き、施策に反映していくことが町づくりの一步であると考えまして2つの会議を設置させていただいております。実行しながらプランを考えていくという会議でもありましたので、今回、プラン策定委員として参加をいただいております。実行部隊であります。実行部隊だけでなく、プランについても反映していける意見をいただいておりますので、実行部隊だから違うということでは全くございません。

(中島委員) 実行部隊という飛躍した言い方をしましたが、推進会議のなかで5年なり10年なりやっていると思います。その経験は当然大切だと思います。課題を文書にまとめてプラン策定委員会に持ってきていただければよいのではないのでしょうか。プラン策定委員会にはそれなりの有識者がいらっしゃるの、

その意見、資料をもとにやっていくことができる。広く意見を求めるといっても、分割する必要は何もなかったのではないかと考えます。

(事務局) 推進会議の規定では、会議のメンバーは公募による市民と識見を有する者となっておりますが、今回のプラン策定委員会では各団体の委員さんからも様々な意見を聞くという趣旨から今回別々にさせていただきました。

(中島委員) 私だけの意見のようなので、ここで締めて結構です。一応、そのような懸念はあります。それを踏まえてやっていただければよいのかなと思います。

(赤井委員) 男女共同参画とかそのようなものは、これから新しくどういう社会を作っていくかというところで、男だとか女だとか決まったものからどう外れて色んなことを考えていかなければいけないかの会議であるのに、この委員会はこうだから、この委員会はこうだからということ自体がそもそも古い感じがしますので、そういうところから外れた新しい議論をこの会議ではできたら素敵なのではないかなと思います。

(佐藤委員) 先ほど推進会議のメンバーが入っているのはどうなのかという意見がありました。これが仮に公募でないメンバーであれば非常にわかります。また、公募のメンバーの全員がプラン策定委員会に義務的に入るのはどうかという部分は共感するところではありますが、こちらの方に資料が出てきた時にはすべて決まっている状態でしたので、私の方が強く意義を言いましたがそれは通らずこのような状況になりました。実行部隊というのは、現実を知らない失礼な発言だと思いますので、訂正・撤回を求めます。

(中島委員) そういうつもりで言ったわけではないです。逆に、推進会議の方はたくさんやることがあると思います。今日の資料をみる限り、どこまでやってきたのか分からない。もっとやるべきことがあるのではないかと思いました。趣旨はお互いにやるのがたくさんあるということです。

(会長) 議事に入ってもよろしいでしょうか。今、お話をお聞きしていて、推進会議のこれまでの実績やご経験、感じてきたことは存分にこの委員会のなかでお話を聞かせていただく時間を設けたいと思います。できれば、お一人おひとりに意見を述べていただきたいと思っていますので、否定はせず肯定した上で発言できるようにもっていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。時間もありませんので、(1)から(4)まで一括して事務局より説明していただければと思います。

(事務局) — (1) から (4) まで事務局説明 —

(会長) 提案ですが、かなりボリュームがあり、時間がないなかで早口でのご説明になっているかと思しますので、スライドの資料を送っていただき、委員のみなさんが普段感じていることや、男女共同参画の意見、疑問点などを書けるような用紙を用意して、整理させていただくというのはいかがでしょうか。

(佐藤委員) 今でたスライドは HP にもアップしていただきたいと思います。みなさんの

意見だけでなく、一般の方からの意見も受けられる体制は必要と思います。

(渡辺雪委員) 今回の見たものに対しての意見を渡すのは賛成で、加えて、プランの作成に対して必ず入れたいものを事前に集めてまとめていただいた方がもっと円滑に、詳細に進むと思いました。

(中島委員) 今の意見は正しいかもしれませんが、これをやってしまうとすごい数の意見になります。収集は大変な労力になると思いますので、ある程度ポイントを絞るべきだと思います。そもそも、プラン策定は各市町村で作りますが、本当に必要なのかなど。例えば私は現役を引退していますが、職場は東京で宮代には寝に帰るだけ。それでわざわざ宮代のルールを作って、宮代と職場のルールが違ったらどうするのか。埼玉県でこういうプランでやりますというものについて、宮代はここここが抜けているから作ることは結構ですが、何となくずれてくるのかなと思います。

(会長) 事前に配布された資料に基づいて、こんな質問をしようとお考えになってきた委員さんもいらっしゃると思います。宮代町にとってどのような計画が必要なのか、という一番大事なところですので、みなさんにご提出いただけるような形をとりたいと思います。

(中島委員) 資料の件ですが、番号の順番を時系列に作っていただきたいです。資料の並べ方も工夫した方がよいと思います。

(佐藤委員) まとめのスライドと、手持ちの資料のページの関連性をホームページ公開に際して注意していただきたいと思います。また、残りの会議の回数の少なさを考えると、これでまとめろというのは無理があるのではないかと考えています。

(会長) 皆さん色々ご意見があろうかとは思いますが、今日のところはこれを持ちまして議事を終了させていただきます。次回の進め方、皆さまにご提出いただくもの、今回スライドとして出したものにつきましては事務局と相談して、みなさまにフィードバックさせていただきたいと思います。

3. 閉会